

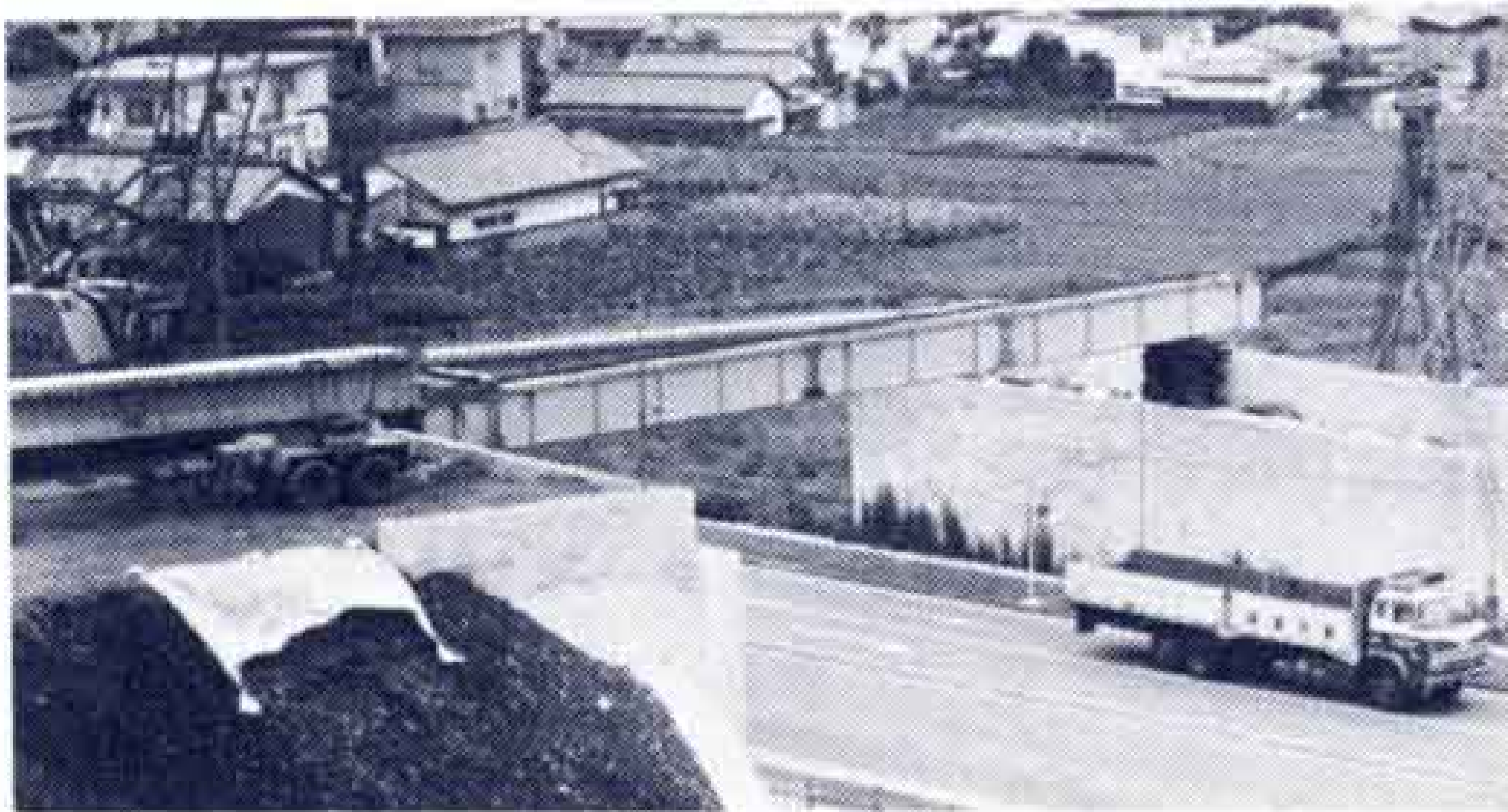


15校目の中学校を建設

富士見台団地の北側隣接地に、市内で15校目の中学校、仮称吉原北中学校が新設されることになり、7月7日起工式が行われました。

開校は昭和56年4月1日で、校舎は鉄筋コンクリート造り4階建、体育館も同時に建てられます。

この中学校には神戸小、吉永第2小、富士見台小校区の生徒が入学します。



深夜の架橋作戦

国道139号（大月線）をまたぐ西富士道路の架橋工事が7月7日から15日まで、深夜、大月線の交通を断して行われました。

西富士道路は、東名富士インターから富士宮バイパスまで6.9kmを結ぶ道路で総工費210億円。南は田子浦臨港線とも接続され、完成すると大月線のバイパスとして大月線の交通緩和に役立つ。完成は56年度末の予定。

グループ訪問

(27)

市の観光映画を製作中

鷹岡シネ・サークル

全国でも、トップクラスの製作技術と古い歴史をもつアマチュアグループである。

年2回の一般公開試写会「小型映画の夕べ」は、地元鷹岡地区の人たちばかりでなく、市外から見にくる人もあり、毎回超満員とのこと。

「第27回TCC小型映画の夕べ」を7月5日、鷹岡公民館で終えたばかり。

昭和32年に日本アマチュア・シネスライド協会の支部として、グループを結成。同42年現在の鷹岡シネサークルに改名、以来、まったく独自の活動を続けている。

グループの自慢できることはと聞くと…「昭和46年に朝霧高原で開かれた世界ジャンボリーの記録を依頼され富士宮市から表彰を受けました。」と会長の鈴木久一さ



ん（47歳）

活動歴20数年という横野邦夫さん（55歳）は、「8ミリの楽しさは、撮影後の編集にあります」と話す。

現在、市から富士市の観光映画を依頼され、グループで制作中。